

山田クリニック ぽすと

平成23年 3月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacli.com>

診察室から

今月も認知症の話ですが、今年の4月から認知症に対する2種類の新しい薬(メマンチン、ガランタミン)が発売されますので、これらの薬について説明したいと思います。これまで、認知症に対してはドネペジルと呼ばれる薬しか認可されておらず、この薬も飲み始めてから2-3年しか効果が持続せず、それ以降は有効なお薬はありませんでした。しかし、メマンチンは、ドネペジルの効果がなくなった中等から重度の認知症の方が対象で、ドネペジルと併用することにより、有効な社会生活を送る時間を伸ばすことができるとされています。もう一種類のガランタミンは、ドネペジルと同じように認知症の初期に使用されるお薬ですが、いくつかの薬物効果があり、ドネペジルで効果が見られなかった方に対して有効とされています。いずれのお薬も欧米では10年以上前から使用されてきた薬であり、これらの薬が発売されることで、日本の認知症治療もやっと欧米並みになります。

検査室より

レントゲン写真の白と黒パート 2

レントゲンの画像は昔のカメラのネガと同じ原理です。明るい部分はネガでは黒く、紙に焼いたら白くなります。通常、胸(肺)の写真では、胸のほとんどを肺の空気が占めるのでX線を遮ることが出来ず黒くなります。肺炎などの場合、悪い部分を身体が治そうとする力により血液やリンパ液が正常の部分より豊富になる為、まわりの部分より白くなります。太ったお腹は痩せているお腹と比べたら脂肪や水の量の違いでX線を遮り白くなります。CT検査での白と黒も同じ原理で骨や歯などは白く、腸のガスや肺は黒くなります。頭の中はほとんどを脳が占めるので画像では灰色になりますが、脳梗塞で血管が詰まってしまうとその血管の先の細胞は栄養や酸素が届かなくなり細胞自体死んでしまいます。よって細胞が水のように変化して崩れ、まわりの正常な部分と比較すると黒くなります。逆に出血すると最初は血液自体のタンパク質のせいで白くなりますが、血液もやがて水ようになって黒へと変化します。肝臓の場合は、肥えて脂肪がついてしまうと正常な肝臓(ほとんどが血液)と比べると黒くなります。結果的に白黒でどちらが悪いのではなく正常の部分と比較すればどうなのか。また、同じものでも病気を発見しやすいように検査する部位ごとに基準となる値が違ってくるのです。(放射線技師)

季節のことは

春光(しゅんこう)

「春の日」は日光をさしますが、「春光」春の風光すなわち、春のやわらかい日の光りをいいます。

春は空と地中からいち早く動き始めるという通り、光りと影が相まって春を実感させる言葉といえます。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00~6:00

ご連絡

3月12日(土)

医師会講習会の為、
臨時休診します。

